

09  
2017

# iシェアーズ 月次ETF\*資金流入レポート

ETFは世界中で6,289銘柄以上が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は4.3兆ドル（約473兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生\*\*しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見てくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

\*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

\*\*ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

## 2017年8月のETF資金流入

8月のETFの資金流入額は、良好な経済指標の発表を受け474億ドルとなりました。流入は先進国株式ETFに牽引されました。年初来からの資金流入は4,192億ドルと、2016年の年間流入額の3,784億円を超過しています。

米国株式ETFは良好な企業決算および経済成長を背景に95億ドルの流入となり、そのうち86億ドルは大型株に入りました。バリュー株とモメンタム株のシングルファクター・スマートベータ\*がそれぞれ2億ドルと、年初来からの流入額は過去最大となっています。（次項参照）

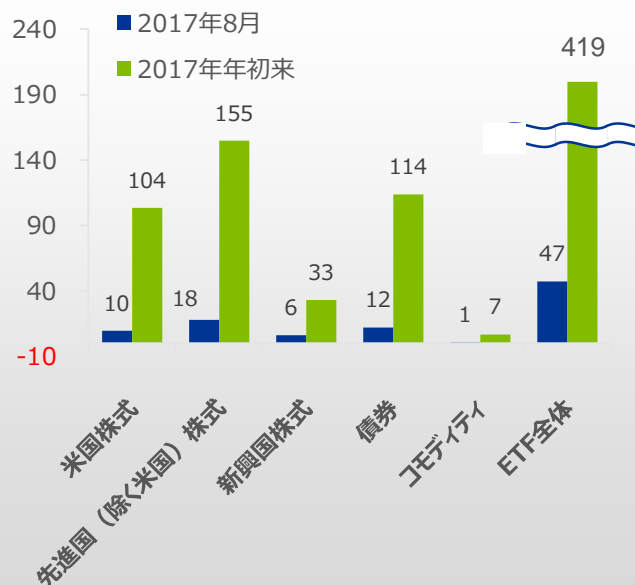
先進国全域型株式ETFの流入は76億ドルとなり、中でも米国を除く先進国株式ETFは32億ドル、日本株式ETFは日銀の買い入れが大半を占め、80億ドルとなりました。

新興国株式はモメンタムを維持し62億ドルの流入。その内訳はブロード型に36億ドル、北朝鮮による政治リスクの拡大にも関わらず、韓国株式に12億ドルとなりました。新興国債券ETFへの流入は5億ドルに留まりましたが、年初来からの資金流入は148億ドルと、過去のペースを上回っています。

債券ETF全体の資金流入は122億ドルとなり、投資適格社債ETFの42億ドルの流入に牽引されました。

金ETFは政治リスクの上昇等不透明感の上昇もあり、15億ドルの流入となりました。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】



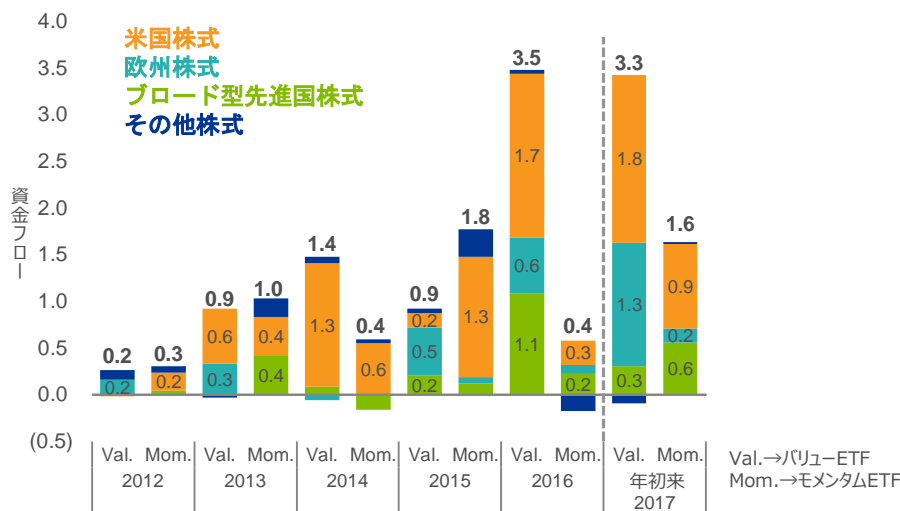
出所：「BlackRock Global ETP August 2017」

\*ルールにのっとった透明性の高い戦略を通じてリターンの上昇やリスクの軽減、より良い分散投資などを図ることを目指す戦略で、代表的なファクターを切り出したもの

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。 EII0917J-258990-794283

## ETFから見る世界の投資家動向

【バリュー株・モメンタム株の年間資金流入動向（単位：10億ドル）】



世界的なリフレーション\*・トレンドを背景に、株価の上昇基調のルールに基づいた株式銘柄に投資するモメンタムETF、および銘柄のファンダメンタルに対して相対的に株価の割安な株式銘柄に投資するバリュー株ETFは、2017年は年初来より記録的なペースで成長しました。当該カテゴリーにおける動向で、ブラックロックが注目している点は次の通りです。

- バリュー株ETFおよびモメンタム株ETFの残高はそれぞれ124億ドル、75億ドルに成長しました。どちらも年初来で昨年末の50%成長しています。
- バリュー株ETFおよびモメンタム株ETFはどちらも年初来の資金流入が過去のペースを上回っており、それぞれ33億ドル、16億ドルとなりました。
- 欧州株式を投資対象とするバリュー株ETFでは年初来からの資金流入の40%を占め、またブロード型の先進国株式を投資対象とするモメンタム株ETFは年初来からの資金流入の34%を占めています。

\*リフレーション デフレーションから抜けて、まだインフレーションになっていない状況のこと

### ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。

### 手数料、費用等について

【売買時の手数料】 当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】 当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただけます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト（<http://www.blackrock.com/jp/ishares>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

## ブラックロック・ジャパン株式会社

ETF事業部 TEL 03-6703-4110（部代表） [www.blackrock.com/jp/ishares](http://www.blackrock.com/jp/ishares)

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号

加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

BLACKROCK®

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。 EIII0917J-258990-794283